

自由のないように使用して  
いただきたい。

### 自然環境について

**問** 21世紀は環境の世紀といわれ、環境問題が大きな社会問題となる時代である。本市も環境マネージメント、ISO14001の認証を取得し環境保全の様々な条例も制定される予定で、環境学習の場や機会の拡充も実施の方向と聞いている。CO2削減に向けて広報活動をはじめ情報公開制度、市民の活動への支援の取り組みはどのように考えているか。

**答** 市民への啓発活動として主に、環境を考える集い、自然保護講演会、自然学校の開催など環境教育の推進や生ごみ処理機購入、太陽光発電システム補助などCO2削減の取り組みを行い、更に来年度はごみの有料化を実施する。今後も、環境保全条例を定め、市民への環境教育の推進と市民1人ひとりの行

動が温室効果ガスの削減につながるように取り組みたい。

このほかに、救急医療体制・教育の充実についても質問しています。

## 大熊 公平

### 合併協定書について

**問** 新市が発足して2ヶ月余り、三市村が一体感を持ち新たに進んでいくには、合併協で十分協議した



三市村で締結された合併協定書

合併協定書を遵守していかなければならないが、協定書について市民は合併の原点だと思っているが間違いないか。また、旧総社市への合併の必要性やその意義について説明不足があったのではないか。

**答** 合併協議会で約一年半にも及ぶ協議を重ね関係者の皆様のご努力並びにご協力により、その証として合併協定書を締結したもので私もそう確認している。合併協議の状況をまとめた小冊子と新市まちづくり計

画の概要版を全戸配付、出前講座、地域集会等で説明、ご意見を聞き、合併を契機に市民主役の協働のまちづくりを訴え理解をいただけたと思っている。

### 新市の建設計画について

**問** 合併は究極の行財政改革、行政のスリム化である。さらに明治維新以来続いた中央集権が終わり地方分権の時代への始まりでもあるが、それは住民の行政参加・協働なくしては成り立たない。新たな分権時代へ対応できる行政システムを成し遂げると目的を上げているが、新市の建設計画に具体的はどう取り上げていくのか。

**答** 合併による新市まちづくり計画を尊重し総合計画は、10年間の目標年次で基本構想を示し、基本計画は5年後と計画期間として施策を示す。実施計画は、毎年ローリング方式により施策を実施、社会情勢などの諸条件により見直し計画期間を3年として対応し、

市民と対話を大切に意見交換、ご提言もいただきながら反映させていきたい。

## 加藤 保博

### 助役・収入役の選任の考え方について

**問** 市長は選挙直後より議会に対し、当初は助役2人制を打診し、その後従来の助役、収入役の形に戻すと説明。しかし、結局究極の行財政改革を理由に両者とも置いていない。短期間に数度の方向転換をされたが、本当の理由は何か。また、助役、収入役の不在は自治体としては異常な状態であり、事務等に支障をきたす。早期の配置が必要と思うがどうか。

**答** 本年度特に財源が不足する中で、合併後、一番大切な時期で市民の皆様方の要望に答え市民福祉の向上に予算を最優先し、新市が軌道にのるまで当分の間助役、収入役を置かないと判断した。事務的には私並び教育長、各部課長に多少負担がかかるが、責任感、